

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-------|----|----|----|----|-----|---|
| 科目名 | 社会学 | 担当者 | 服部 慶巨 | 部別 | 大宮 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|-----|-----|-------|----|----|----|----|-----|---|

【授業概要】

| | |
|--------|---|
| 〔授業目的〕 | 人間は、一人で生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。 |
| 〔履修条件〕 | 特になし |
| 〔授業方法〕 | 受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。 |
| 〔評価方法〕 | 学年末試験（80％）と平常点（出席状況10％、受講態度5％、小レポート5％）により、総合的な評価をする。試験は論述式で実施する。 |
| 〔教科書〕 | 追って指示する |
| 〔参考書〕 | 追って指示する |

【授業区分】

| 区分 | 授 業 内 容 | 区分 | 授 業 内 容 |
|----|-------------------------------|----|-------------------------|
| 1 | ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など） | 16 | 問題行動の根源 「問題行動」のとらえ方 |
| 2 | 状況（情況）判断 | 17 | 問題行動の根源 Communis 的問題と常識 |
| 3 | 社会（学）とは何か？ | 18 | 問題行動の根源 他人志向と同調行動 |
| 4 | 社会的動物としての人間 Double Happiness | 19 | 問題行動の根源 逸脱 |
| 5 | 社会的動物としての人間 生理的早産 | 20 | 問題行動の根源 行為と行動 |
| 6 | Human Being（人間とは何か？） | 21 | 問題行動の根源 共感性の欠如と逆ギレ |
| 7 | 人間関係の諸相と構造 総論 | 22 | 問題行動の誤対処 人間関係とストレス |
| 8 | 人間関係の諸相と構造 地位（status） | 23 | 問題行動の誤対処 非日常性 |
| 9 | 人間関係の諸相と構造 役割（role） | 24 | 問題行動の誤対処 アノミーと犯罪 |
| 10 | 「らしさ」の培養 文化（culture） | 25 | 問題行動の誤対処 人生縮小化現象 |
| 11 | 「らしさ」の培養 パーソナリティ（personality） | 26 | 問題行動の誤対処 癒しブームの落とし穴 |
| 12 | 「らしさ」の培養 ジェンダー（gender） | 27 | 視聴覚機器による問題行動の理解 |
| 13 | 「らしさ」の培養 アイドル（idol）工学 | 28 | 視聴覚機器による問題行動の理解 |
| 14 | 実験演習 | 29 | 実験演習 |
| 15 | 前半まとめ | 30 | まとめ |